

# GSIS 同窓会会報

No.3

## INDEX

会長挨拶 .....	1
入科式・修了式での同窓会合同イベントの報告 .....	2
■ポスターセッション .....	2
■TIDE .....	2
第9回まなばナイト実施報告 .....	4
同窓生キャリアレポート .....	7
イベント情報 .....	10
会費納入のお願い .....	12
会員情報 .....	13

2013年8月5日

## 会長挨拶

GSIS 同窓会の皆さま、この度、同窓会会長に推されました 3 期生の早川です。よろしくお願ひいたします。

さて、GSIS 同窓会メンバーも 60 名を越え、小職が同窓会に加盟した時の 3 倍以上の大きな組織となりました。これまで、1 期生の加地さんを同窓会会長として、設立時の多大な業務を乗り越え、安定した同窓会活動ができるようになっております。これも単に、加地前同窓会会長を中心に、1 期生、2 期生の諸先輩方のご努力の賜物と感謝申し上げます。

今後、GSIS 同窓会の活動として、次のような活動を重視していこうと考えております。最初に、GSIS の広報についてです。GSIS への受験者数も少しずつ増えてきていますが、企業を中心にまだ認知度が高いとは言えません。GSIS での学びへ、多くの方を誘えるような活動をしていきたいと思ひます。そこで、同窓会ホームページを一般読者向けに開設し、GSIS の紹介、GSIS 同窓会の紹介、GSIS 同窓生の活動紹介等を行っていきます。現在、同窓会主催で定期開催されている学びのイベントである、「まなばナイト」への集客のために、本ホームページからも情報を発信していけるようにしていきたいと思ひます。

次に、同窓生と GSIS 現役生との関りを増やせるような機会を持てるようにしていきたいと思ひます。同窓生は全国各地に住まわれており、全国区で活動が可能な状況になってきています。また、皆さんご存じのように GSIS 学生は、全国どこからでも学べるので、住居地には関らず学べます。学生時代を思い出すと、同期生との集まり（熊大ナイトや自主的ナイト等）が、学習への意欲向上に大きく貢献したことを思い出します。そこで、全国各地で、同窓生と現役生のコラボができないかと考えております。具体的な内容はこれからの検討事項です。皆さまからご意見を頂戴し、検討していきたいと思ひます。例えば、大阪コラボナイト（GSIS 同窓生と現役生の飲み会、悩み相談や地域活性化策検討など）、夏・冬合宿での同窓生による現役生の研究相談など。

最後に、同窓会の方向性を再検討したいと思ひます。同窓生が同窓会に何を求めているのかが良くわからないのが現状です。同窓会という組織を通じて何かやりたいことがあれば、それらのアイデアを取り入れていきたいと思ひます。

何ができますという約束は、現状ではできませんが、皆さまのご要望をうかがいながら、少しずつ前に進んでいきたいと思ひます。皆さまへのご協力をお願いして、ご挨拶にかえさせていただきます。

GSIS 同窓会会長  
早川 勝夫

## 入科式・修了式での同窓会合同イベントの報告

### ■ポスターセッション

2013年4月6日に、熊本大学大学院教授システム学専攻入科式および修了式との合同イベントとして、第3回GSIS同窓会ポスターセッションを開催いたしました。発表件数は12件と昨年よりさらに増え、同窓生の広がりを感じます。飲食しながらの和気あいあいとした雰囲気の中、活発な議論が行われました。

運営面としては、パネルの間隔が狭く雑然としてしまったこと、予稿集に文字化けや誤字が発生してしまったことなど、いくつか反省点があります。発表および予稿集の価値を高めるため、運営体制を再検討し、来年度へつなげられるようにしたいと思います。

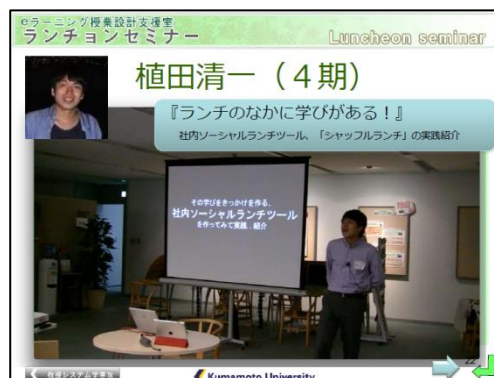
今回のポスターセッションを通じて、会員の皆様の研究や業務がさらに発展し、多くの成果が生まれることを願っています。最後に、運営準備等にご協力いただいた関係者の皆様と、当日ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



文責：第3回ポスターセッション実行委員長 第4期生 甲斐晶子

### ■TIDE

TIDE (Technology, Instructional Design, Education の略) とは、ID を活用した種々の取り組みを披露する LT (Lightning Talk) イベントです。熊本大学大学院教授システム学専攻同窓会では、隔月で勉強会「まなばナイト」を開催しております。4月については年に一度の専攻行事があり、特に関係者が寄り合い動機付けを高める機会と位置づけるスペシャルイベントとしました。初回となる今回、以下の6名に登壇いただきました。



第 158 回ランチョンセミナーでも TIDE の報告をしました。合わせてご覧ください。  
<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=2136>

OBOG のみなさまには、同志の奮闘ぶりを知り、讃え励まし合い、自分のねじを巻き直す機会に、また在校生や新入生にも、モチベーションを高めるいい刺激になったことと確信しております。

文責：TIDE/まなばナイト実行委員 第 1 期生 加地正典

## 第9回まなばナイト実施報告

熊本大学大学院教授システム学専攻同窓会主催で開催している「まなばナイト」第9回が開催されましたので報告いたします。実行委員の加地です。

テーマ：ASTD2013 ICE 最新速報 ～HRDの知見を仕事に活かす方法を考える～

今回は、熊本大学教授システム学専攻で「教育ビジネス経営論」「職業人訓練教育にけるeラーニング」を担当いただいている下山先生と、専攻のOBで3期生の佐藤さんに登壇いただきました。



オープニングでの鈴木専攻長からの登壇者紹介につづき、全体の進行を務めてくださった佐藤さんから概要説明ののち、参加者の自己紹介でアイスブレイク。

「企業内／企業向け教育」というカテゴリで企画／広報した今回のまなばナイトですが、多方面からの参加をいただきました。参加の目的は、

- ・ASTD というと盛りだくさんでお腹いっぱいになる。報告者や参加者というフィルタを通して何か持ち帰りたい。
- ・普段の情報収集と活用について、他の方がどのようにしているのか気になっていた。
- ・懐かしさと興味深さで足を運んだ。

等々、様々でした。

### ■話題提供

<下山博志先生（㈱人財ラボ代表取締役社長、ASTD グローバルネットワークジャパン副会長）>

話題提供として、まず下山先生から、「ASTD 2013 ICE の報告」をいただきました。ASTD 自体の紹介。この4文字を見たことも無く参加された方はおそらくいなかったと思いますが、団体としての成り立ちや経過、米国（諸外国）と日本での人財開発の広がりの違いなどを説明いただきました。

- ・人事／人財開発の資格は、日本には無い。米国にはある。
- ・SNS 上に、数百のコミュニティがある。
- ・日本でも活動立ち上げた。18名の理事が多方面で活動している。研究会／理事会

そしてICE というイベントについて。

・日本からもいくつかのツアーがあり毎年足を運んでいるが、(現地で見ると)参加者はほぼ同じ。

・定点観測されているかたは、ある分野をズーッと見ている。

・サムソンは50名とか送り込んでいる。セッションの都度レポートをまとめて本国に送り、毎晩ディスカッションしている。

・今年はiPhone アプリがでた。セッションが目的にあってなかったら出て行く動きも目立つ。すごい数のセッション。巨大なコンベンション



日本で人材開発のテーマは？

トレンドっていったって、ありすぎて、一部しか聞けていないし実際違う面もあったりする。ものごとのとらえかた様々。それぞれに専門家がいて、すごいインプットを得たようっていて、それは巨像の耳に触った程度のことでは無い。

そしてキーワードについて。

毎回、新しいキーワードに出会う。聞かれなくなったキーワードもあるが、それらは「当たり前」になりキーワードとして浮き上がったものではなくなくなったものも多いことに気付かされる。

特に注目されたキーワードとして、「エレメント」「PULLの哲学」「キュレーション」「Tin Can API」「劇的な変革」を解説いただきました。

<OB (3期生) の佐藤淳志さん>

「関心をもって今回参加いただいた方々をみてみますと、人口的には少ないながらも、人材育成部門を取り巻く方々に関心をもたれている様子がうかがい知れます」というコメントから始まり、自己紹介。教授システム学の4つの”1”やGSISコンピテンシーが企業内教育とどのような関わりがあるのか、どう役立っているのか解説されました。また、GSISの修了とリンクしているeLCのeラーニングプロフェッショナルのロールを引き、企業内人材育成の行程整理に使える点を指摘されました。

続いて ASTD コンピテンシーについても紹介。

また佐藤さんが参加された過去の ASTD でのエピソードなども、写真とともに紹介いただきました。熊大で構築した体系的知識により、ASTD で扱うトレンドの高い理解・活用につながったことを、「教授システム学が頭の中に本棚を作ってくれたようなもので、ASTD のような場に出て行っても、専門外の領域であってもスルスルと入ってくるようになった」と紹介されました。

#### ■ディスカッション

休憩を挟んで、2つの話題提供を受けグループに分かれてディスカッションを行いました。4つのグループに分けさせていただき、それぞれにディスカッショントピックを参考に議論されました。企業内教育、企業向け教育の課題、現状、動向をおさえるのに、みなさん様々に苦労されている様子が出ていました。それらをグループディスカッションで重ね合わせ、新たな気付きやつながりが生まれたとしたら幸いです。

ディスカッションフェーズ： 討議するテーマ	
①	一人ひとりの持っている情報ソースを共有しましょう。 例えば・・・ ASTDは知っていた？ 行ったことある？ どんな情報ソースを使っている？(メルマガ、雑誌とか)
②	今日得られた視点の共有 今日のキーワードは何がありましたか？ 特に気になったテーマは何ですか？ 元々知っていた知識をメンバーに共有ください。
③	今日のトピックでもっと深く知りたいことはありますか？
④	今日の学びを、組織へ情報共有するには？
⑤	今日の学びを、どのように仕事に活かすか？
⑥	仕事に活かす上での課題と対応策は？

当日の写真やスライドなどをもっと見たい！という方は、「第9回まなばナイトレポート」をご覧ください。

[http://www.manabanight.com/info/manabanght9\\_report](http://www.manabanight.com/info/manabanght9_report)

#### 【今後のまなばナイトの予定】

- ・ 第10回まなばナイト 2013年8月31日(土)
- ・ 第11回まなばナイト 2013年10月5日(土)
- ・ 第12回まなばナイト 2013年12月14日(土)
- ・ 第13回まなばナイト 2014年2月22日(土)

まなばナイトに関する最新情報は以下をご覧ください。

<http://www.manabanight.com/>

文責：まなばナイト実行委員 第1期生 加地正典

## 同窓生キャリアレポート

連載コーナーとして、修了生の活動報告を掲載します。第2回目は、4期生で消防士の大石奨さんの登場です。

名前：大石 奨

入学年度：2009年度修士（前期課程）入学（4期生）

現在の所属：豊田市消防本部

- **あなたのお仕事内容について教えてください。（できれば過去からGSISを修了する前まで、修了後から現在に分けて書いてください）**

### 【GSIS入学前】

2000年から消防署にて警防・救急・予防の業務を遂行している。救急救命士の資格を持つためOJTやOffJTを任されることもあるが、学習構築のための最良の手段を見出せず手探りの日々が続いた。2002年には、プライベートで救急対応シミュレーション「ICLS（Immediate Cardiac Life Support）コース」へ参加を始めた。本コースは、受講後にインストラクターでの参加が可能であった。しかし、ICLSコースの受講対象は医師・看護師・技師などの医療従事者や救急隊員などであり、受講者の資格や職務経験の違いによりインストラクションに対する苦悩の日々は続くことになった。転機は、2008年に一緒に活動していた仲間がハワイ大学シミュレーションセンターで鈴木克明先生と出逢ったことである。仲間の帰国後に、IDやGSISを知らされ『教材設計マニュアル』を早速購入させていただいた。それがインストラクショナルデザインを知るきっかけとなりGSISを受験しようと思いついた動機である。

### 【GSIS入学後】

私たちの仕事は24時間勤務（勤務時間：午前8時30分～翌日午前8時30分）で、勤務明けは24時間の非番となりGSISと向き合う時間が多かったのは唯一の救いである。しかし、ベンダーなどの職種でない私には、初めて聞く用語ばかりが連ねられており四苦八苦の毎日であった。履修した内容を活用するため、職場やプライベートにて学習をIDにて構築し「解りやすい」「楽しい」などの反響を得たことを記憶している。修士論文では、入学前から継続しているICLSコースにてインストラクターの質向上について研究を行った。このコースの特徴は、1回の受講経験で次回からインストラクター参加可能なことであるが、物事を的確に伝えるためには科学的理論による裏付けが必要と考え、ibstpi@インストラクターコンピテンシーをもとにインストラクションのコツを自己学習できる教材を制作した。

### 【GSIS修了後】

修了後も仕事の内容には変化はないが、職場内の教養などで学習目標の明確化や動機づ



けに配慮しながら ID を積極的に活用している。特に、昨今の団塊世代の離職に伴う採用職員の増加がある現状では、魅力的・効率的・効果的の3拍子が揃った学習方略は当然のことながら功を奏している。職場内の活用例では、ディック&ケリーの ID プロセスモデルに基づき、消防車から放水するための操作方法を習得する教材を作成し部内教育を実施している。また、プライベートでの ICLS コースへの参加も継続しており、2012年12月と2013年7月には既存の指導者養成ワークショップのカリキュラムを ID にて再構築した『日本救急医学会認定 ICLS 指導者養成ワークショップ注1』を主催した。カリキュラム再構成の際に、特に配慮した点は学習目標の明確化であり、だれからも成果が見えるような学習方略の重要性を訴えた。その他に、実際のコースにて受講者のやる気を引き出す理論として ARCS モデルを紹介し、A・R・C・S の各項目について考えるセッションを行った。WS 受講後の感想は、今後は受講者目線の重要性を常に意識したいこと、伝える技術の難しさを実感したがいくつかヒントがあったので次に生かせるようにしたいなどの反響を得ることができた。しかし、内容が難しいとのコメントもあるため引き続き改善をしていく考えである。

注1 日本救急医学会 ICLS 指導者養成ワークショップ

[http://www.icls-web.com/workshop/workshop\\_outline.html](http://www.icls-web.com/workshop/workshop_outline.html)

- **GSIS で学んだことは、現在、役に立っていますか？役立っている場合は、何がどのように役立っているのか、具体的に教えてください。**

充分過ぎるほど役に立っています。現在の私の人生は GSIS があったから成り立っていると考えています。時が経過するとともに、GSIS で学ぶことができ良かったと身に染みて思います。その理由として、先述した『日本救急医学会認定 ICLS 指導者養成ワークショップ』のカリキュラムを自ら構成し、継続的に開催していることがあります。私の構築したコースが学会認定され、実施されていることはインストラクショナルデザイナーとして感無量です。しかしながら、開催できたことに満足するのではなく学習者中心の成果が出るよう PDS (Plan-Do-See) サイクルにて改善を図り、より良いものとするため ID を生かしていきます。

- **現在興味があること（これから学んでみたいこと、やってみたいこと）を教えてください。特に GSIS の先生方・在校生・修了生と一緒に取り組めそうなことがあればお願いします。**

私が ID の道に入るきっかけとなったのは、プライベートでの活動でした。しかし、本業においても ID を活用すべき場面は多数存在しています。現状を分析することで、成功していることを ID にて説明し、不成功のことを ID にて補強して有効性を明らかにしていきたいと考えています。小さなことからコツコツと実践して ID を広めていきたいです。職務の

関係上、私を応援してくださる方には医療者が多いため、他分野の方ともコラボレーションすることができれば新たな視界が開けると思います。GSIS に関係する全員が一丸となった結果として、全体が『学ぶ社会』に変革してくれることが私の願いです。入学試験の際に、鈴木先生から「パイオニアになりたいの？」と問われ「はい！」と回答したことを胸に秘め、これからも精進していきます。

- **GSIS や同窓会に期待すること、要望などがあればお願いします。**

インストラクショナルデザインが共通言語として、あらゆる場所で通用する社会となるよう更なる発展を期待します。そのためにも、修了生として継続的な学会報告や公開講座のバックアップを精力的に実施させていただきます。もし可能でしたら、中部地方や東海地方にて ID を広めるための定期的な催事をご検討いただければと思います。



第 5 回日本医療教授システム学会総会 一般演題「ISD 教育効果・評価」座長での一場面

## イベント情報

- 2013/07/27(土) ～ 2013/07/28(日)  
日本教育工学会 2013 年夏の合宿研究会@信州大学
- 2013/08/09(金) ～ 2013/08/11(日)  
ICoME2013@日本福祉大学
- 2013/08/31(土)  
第 10 回まなばナイト
- 2013/09/02(月) ～ 2013/09/04(水)  
教育システム情報学会第 38 回全国大会@金沢大学 角間キャンパス 【合宿参加可能】
- 2013/09/09(月) ～ 2013/09/12(木)  
KES2013@Kitakyushu, Japan
- 2013/09/14(土)  
教育システム情報学会 2013 年度第 3 回研究会「先進的な第二言語学習支援システム／一般」@静岡大学浜松キャンパス
- 2013/09/21(土) ～ 2013/09/23(月)  
日本教育工学会第 29 回全国大会@秋田大学 【合宿参加可能】
- 2013/09/28(土) ～ 2013/09/29(日)  
教授システム学専攻夏合宿 【合宿参加可能】
- 2013/10/01(火) ～ 2013/10/04(金)  
ICEM 2013@singapore, Singapore
- 2013/10/05(土)  
第 11 回まなばナイト
- 2013/10/06(日) ～ 2013/10/09(水)  
ICWL2013@Kenting, Taiwan
- 2013/10/20(日)  
熊本大学公開講座「インストラクショナルデザイン入門編 ～ID を知ることから始めよう～」 @名古屋
- 2013/10/21(月) ～ 2013/10/25(金)  
E-LEARN 2013@Las Vegas, Nevada
- 2013/10/23(水) ～ 2013/10/26(土)  
FIE2013@Oklahoma
- 2013/10/26(土)  
日本教育工学会研究会「新時代の学習評価／一般」@兵庫医科大学
- 2013/11/09(土)  
教育システム情報学会 2013 年度第 4 回研究会「教育・学習支援におけるユーザモデリ

ングとデータマイニング／一般」@北陸先端科学技術大学院大学

- 2013/11/10(日)  
熊本大学公開講座「教育デザイン・ワークショップ入門編」 @東京
- 2013/12/14(土)  
日本教育工学会研究会「エンタテインメントを活用した教育／一般」@徳島大学
- 2013/12/14(土)  
第12回まなばナイト

その他のイベント情報は、同窓会メーリングリストまたはIDポータルをご覧ください。

**【合宿参加可能】**という表記があるイベントは、GSIS 同窓会会員も合宿に参加可能です。

(1) JSISE (教育システム情報学会) 全国大会@金沢大学

学会日程：9月2日ー4日

合宿会場：かなや <http://www.yuwaku-kanaya.com/> (金沢大学よりバス20分程度)

・1泊2食(1万2ー3千円程度・懇親会日は朝食のみ)、学会会場への送迎付き。

(2) JSET (日本教育工学会) 全国大会@秋田大学

学会日程：9月20日ー23日

合宿会場：秋田温泉さとみ <http://www.satomi-e.com/> (秋田大学よりバス15分程度)

・1泊2食(1万3-4千円程度・懇親会日は朝食のみ)、学会会場への送迎付き。

(3) 教授システム学専攻 夏合宿

日程：9月28(土)ー29日(日)

開催地：鹿児島 妙見温泉 薩摩隼人ホテル <http://www.synapse.ne.jp/myoken/menu.htm>

参加費：15,000円

・1泊2食、鹿児島空港ー現地間の送迎バス代等を含む。29日昼食は別料金。

3ヶ所の合宿申込を下記のURIにて受け付けています。

**(2次申込〆切日時：8月12日(月)09:00am)**

<https://docs.google.com/spreadsheets/viewform?formkey=dGZuNVc1SkZqV2UxVThqRTFucWZxN1E6MA>

詳細はメーリングリスト[[gsisalumni:115](#)]をご覧ください。

## 会費納入のお願い

2012年4月7日の同窓会総会第3号議案において可決されたとおり、会費の納入をお願いいたします。

永久会費：2万円

納入期限：2013年3月末日

納入方法：以下の口座へ振り込みをお願いします。

名義：クマモトダイガクダイガクイン

シャカイブンカカガクケンキュウカ

キョウジュシステムガクセンコウドウソウカイ

ミヤハラトシユキ

口座：三菱東京UFJ銀行神保町支店(店番013)

普通) 0048030

※振り込みの際は、文字数制限がありますので、そのギリギリまで入力いただければ大丈夫です。

※会費の納入を持って、同窓会正式入会となります。

## 会員情報

2013年7月8日現在の会員情報です。

### ■会員数 74名

第1期生 (2006年度入学)	9名
第2期生 (2007年度入学)	16名
第3期生 (2008年度入学)	16名
第4期生 (2009年度入学)	14名
第5期生 (2010年度入学)	11名
第6期生 (2011年度入学)	8名

### ■役員一覧 (2013年度)

#### 名誉会長 (1名)

加地正典 (2006年4月入学)

#### 会長 (1名)

早川勝夫 (2008年4月入学)

#### 副会長 (1名～若干名)

市橋貢 (2008年4月入学)

甲斐晶子 (2009年4月入学)

加藤泰久 (2009年4月博士後期課程入学)

#### 各期代表幹事 (各期1名)

中西孝二 (2006年4月入学)

中寫康二 (2007年4月入学)

市橋貢 (2008年4月入学)

植田清一 (2009年4月入学)

上田勇人 (2010年4月入学)

清水將統 (2011年4月入学)

#### GSIS 教職員幹事 (若干名)

鈴木克明教授 (専攻長)

喜多敏博教授

北村士朗准教授 (同窓会担当教員)

#### 会計 (1名)

宮原俊之 (2006年4月入学)

#### 監事 (1名)

石川久吉 (2007年4月入学)

#### 事務局長 (1名)

高橋暁子 (2007年4月入学)

#### 各委員会

- ・まなばナイト実行委員長  
宇野令一郎 (2006年4月入学)
- ・入科式イベント実行委員長  
加藤泰久 (2009年4月博士後期課程入学)

## GSIS 同窓会連絡先

GSIS 同窓会事務局 (高橋) : atakahashi@kumadai.jp

メーリングリスト: gsisalumni@googlegroups.com

Moodle: <http://mo.iELD.kumamoto-u.ac.jp/gsis1/>

Facebook: <http://facebook.com/gsisAlumni>

twitter: <http://twitter.com/gsisOBOG>